



発行所
岐阜農林高等
学校同窓会
TEL <058> 324-1145
http://www.gino-douso.org/

岐阜市農協組合長ならびに
JA岐阜中央会会長就任にあたって



去る6月
20日の総代
会において
岐阜市農業
協同組合代

上松 忍 (昭27農卒)

表理事組合長に就任し6月末日に
開催された委員会においてJA岐
阜中央会会長に就任しました。

昭和50年5月に市橋農協組合長
を就任して以来、地域農業の振興
のため、農地の基盤整備や灌漑設
備の充実に取り組み、農家経営の安
定に努めてまいりました。

また、組織再編に伴い平成10年
4月には岐阜市一円の農協を統合
し、岐阜市農協が誕生しておりま
す。

現在、農業政策が年々変更され
る中、農業後継者の高齢化や担い
手不足、都市化による農業耕作地
の減少など大きな課題があります。

こうしたなかで、野菜、果実を
中心に都市近郊農業が継続するた
めにも、農業教育は重要なことで
あり、将来の担い手を育成する上
でも大切なことです。

安全・安心・健康な農産物を提
供を基本に県では、食料確保計画
を策定し食料自給率50%をめざし
て穀物生産の拡大に取り組みされて
います。

しかし、主食である米の消費量
は年々減少し食料自給率の水準は
依然として低い状況にあり、輸入
農産物の残留農薬問題や食品の偽
装表示問題は食の安全に対する不
信感、不安感を招いています。

一方、消費者の健康志向の高ま
りから、栄養バランスの優れた米
を中心とした日本型食生活の見直
しと、食材の持つ機能性への着目
により「地産地消」の意義が再認

同窓必読の
親しい便り。

農林の指針

一人でも多く
見まじょう。
(希望者は事務局まで)

購読料 年3回発行(郵税共)
一部 年1,000円

印刷所
岐阜文芸社

識されています。

昨年施行された、食育基本法に
おいては、食に関する知識と食を
選択する力を習得し健全な食生活
を実現するため、学校給食におけ
る地場野菜の使用や農業体験の機
会を積極的に提供し、自然の恩恵
と食に関する人々の活動の重要性
について理解を深めるように努め
ていかなければなりません。

本校においては、長年にわたつ
て築いてきた伝統のなかに「不撓
不屈」が受け継がれ各職域で卒業
生の皆様が活躍されていること
です。

今後農協事業の本来の仕事で
ある営農事業に力を入れて、組合
員の皆様に安定した農業経営が行
えるように支援するとともに、新
規就農者や定年帰農者への相談機
能の強化に努める所存です。

卒業生のみならずには、今後と
もご支援、ご協力をお願い申し上げ
ます。

NATURAL & HONESTY
岐阜パールライト株式会社
各務原市各務山の前町2-351-2 〒509-0105
TEL 0583-70-7361 FAX 0583-70-7364
http://www.gifupearl.co.jp

明日をかたちづくる
丸栄コンクリート工業株式会社
本社 〒501-1629
岐阜県羽島市福寿町間島一五一八
TEL 〇五八 三九三 〇七〇〇

ENDO
森林整備・木材生産・造園土木
株式会社 **遠藤造林**
代表取締役 遠藤 一美
専務取締役 遠藤 一二己 (昭四四林卒)
造園部長 遠藤 雅樹 (平三林卒)
本社 〒502-0812
岐阜市八代3-26-10
TEL (058) 231-5112
FAX (058) 231-4429
支社 洞戸・養老・山県・芥見・金山

クリーンな未来を。
今日は、昨日の未来。
そして、今日の一番近い未来は、明日。
新しい世紀が訪れても、昨日、今日、明日、
その一日一日の積み重ねが、
未来を創って行くことになり(あ)ません。
環境を美化させるコンクリートは
"地球の創造素材"である。
と私たちは自負しています。
自然と人と社会。
それぞれの調和を大切にしながら、
シンプルに生きる。
21世紀は、本質に還る時代です。

SHOWA
プレストレス・コンクリート設計製作施工
コンクリート二次製品製造販売
昭和コンクリート工業株式会社
〒500-8703岐阜市青蘭1丁目1番地
TEL.058-255-3333 FAX.058-255-3330
代表取締役 村瀬恒治

Central Rose Nursery
セントラルローズナーサリー
〒501-04 岐阜県本巣市七五三 一の坂772-4
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277
大西 隆 (昭和45年農卒) 故平成7年亡

ヒナ・資材・鶏卵加工販売
株式会社 **後藤孵卵場**
岐阜市西野町7丁目北町13
TEL 058 251-2231
FAX 058 253-0812
ゴトウグループ
ゴトウテクニカル
グローバルチェック
岐阜養鶏農協

農村振興技術連盟大賞を受賞して

丸栄コンクリート工業(株)

顧問 加納喜明

(昭27農土卒)



この「大賞」は、東京において
夫妻同伴で祝賀式と表彰式を二日
にかけて行われることになってい
ます。

それでは、このたびの「大賞」
のセレモニーについて報告をいた
します。

平成十八年七月四日(火)に、
日比谷公園内の「松本楼」におい
て、国会議員、農林水産省、関係
団体のトップや、大幹部の人達が
百名近くお出ましになり、お祝詞
などを戴きました。また各受賞者
には、夫妻同伴での受賞の感想ス
ピーチがあり、会場は拍手の渦に
包まれました。

同じ道をいそしむ人達の和やか
な、賑やかな感動の祝賀会でした。
祝賀会終了後は、受賞者一行は
帝国ホテルで宿泊させて戴きまし
た。

このたび農村振興技術連盟大賞
を受賞させて頂きました。
私から申し上げるのもいかな
ものかと存じますが、この大賞に
ついて少しご説明をいたします。
日本の「農業土木」は、概ね農
業土木学会と、農村振興技術連盟
から成り立っております。
技術連盟の目的達成に大きな貢
献があった人に対し、毎年十五人
ぐらいに「大賞」として表彰され
ることになっていきます。

高齢者叙勲 瑞宝双光章

元同窓会副会長

林 常夫 氏

(昭和11年農業卒)

翌、七月五日(水)午前十時よ
り表彰式が東京イイノホールで行
われました。

当日は、技術連盟主催の「全国
農村整備サマーセミナー」に出席
された農業土木技術者五百名の皆
様から盛大な拍手を受け、妻と共
に演壇に着席しました。

表彰式は、中村良太表彰審査委
員長(日本大学教授)からの審査
講評に続いて、太田委員長から十
五名の受賞者に対して表彰状が授
与されるとともに記念品が贈呈さ
れました。

以上が、「技術連盟大賞」の受
賞セレモニーのあらましです。

それにいたしましたも、このよ
うな「大賞」は、文字通り浅学非
才で古稀を過ぎていた私が受賞で
きることは本当に想定外の出来こ
とでありました。それには、先輩
諸氏、上司や同僚の方々の温かい
ご指導とご鞭撻を賜りましたお陰

と感謝をしているところでありま
す。なかでも次の三つが胸をよぎ
ります。

その一つは、半世紀以上も前に、
鍛えられた「岐阜農林」の「不撓
不屈」であります。

二つ目は、岐阜県職員として、
四十二年間も土地改良行政一筋に
奉職できたことです。

三つ目は、県を定年退職後すぐ
丸栄コンクリート工業(株)で勉
強やお仕事をさせて頂いて戴いて
とです。就中、人格高邁な社長さ
んより、「総ては宇宙の実体であ
る」を教えて戴いていることです。
また、「大賞」の受賞決定通知
を戴いてから、国会議員、県会議
員、役所関係、農業土木学界の皆
様から祝電やお祝いをたくさん頂
戴いたしました。本当にありがと
うございました。紙面をお借りし
て心より厚くお礼を申し上げます。

当日の参加
受付ます

平成18年度同窓会総会

期日 平成十八年十月七日(土) 十四時

場所 グランヴェール岐山(旧岐山会館)

岐阜市柳ヶ瀬通6-14 ☎0581-263711

懇親会費 五千円

世話人 昭和59年卒 平成16年卒

松井大典氏(昭62農化卒)の講演

バスケット選手からトップモデルへ転身し活躍中。

会員の皆様方、多数のご参加をお待ちしております。

同窓会常任理事会について

平成18年5月13日、本校同窓会
の常任理事会が行われました。こ
の日、村橋元同窓会長と北野憲弘
校長のあいさつにはじまり、機関
誌「瑞穂」第217号の編集会議・平
成18年度同窓会総会・平成18年度
行事計画について討議しました。

特に、これまで本校の同窓会総
会はランドホテルで行ってきま
したが、今年度はグランヴェール
岐山に変更されました。更に、創
立記念講演としてモデルの松井大
典氏に依頼することが提案され
承されました。



同窓会だより

二〇〇六年五月二十四日

農業土木科一回生クラス会

農業土木科一回生(昭和22年卒)は、今年、母校を卒業してから59年が経った。月日の経つのは早く、殆どの者が今年喜寿を迎える。農業土木科の同期は全員で54名(卒業52名)であったが、既に21名が故人となり、現在メンバーは32名となった。



クラス会の定例日は毎年4月29日で、今年も柳が瀬の「宇を徳」で開いた。出席者は、18名で、遠くは北海道から酒井桂一君が、神奈川・茅ヶ崎市から酒井淳君が、名古屋から武藤勇君らが来てくれ

た。いつもの常連である。お互い健康でクラス会に参加出来たことに感謝し、欠席した友らの近況の知らせに友を案じ、又生徒動員による北海道での援農のこと、終戦を北海道で迎えたこと、郡上の切立での開墾のこと等思い出に話はずきず名残を惜しみつつ、次回の幹事を決め、又の再会を楽しみにして散会した。

(幹事: 松野郁雄、宮川喜敏)

「堀口先輩と昭和20年卒生の昼食会1周年記念のつどい」

報告

(平成18年7月25日
岐阜メルサ北山開催)

昭和20年の卒業生は在学中もろに戦争の被害を受けた。多数の軍隊志願者を輩出し、幾人もの級友を犠牲にしたクラスでもある。また北海道農家支援や満州岐阜県報国農場の手伝いに加えて近隣地域の開墾作業、各務原航空隊の飛行機の爆風避け土堤作りにと動員され、体力的には最も鍛えられたと自負している。

従って在学中の思い出も絆もより強いものがあるが卒業から60余年を経過しクラス会の出席者は激減する状況にある。

このような中で元気な者同士が声を掛け合い、山本君の努力もあってこの1年間フリーな昼食談話会を続け、お互いに励まし合って来た。

今回は1周年記念と云うことでより多くの級友を集めようとの山

本君達の努力が実り、話題の多い堀口先輩にも出席を願って10数人が集い、他界した級友の冥福を祈りまた各自の健康を祝福して乾杯し思い出の学生生活を語り合った。

特別参加の堀口先輩には極道の社会やレスリングの話で座を盛り上げて戴いた。予想以上に酒量も進み元気をアピールする機会ともなり、名残を惜しみながら再会を約して解散した。

当日は松原先生をお招きしてあったが、直前先生の体調不良で参加して頂けなかったことが残念である。先生のご快癒と級友のご健康を祈念して「20年卒業生会1周年記念の集い」の報告とさせて頂く。堀口先輩ご多忙のところ有り難うございました。

平成18年8月3日

青木和芳



卒業生の職場紹介

（管理部部长高岡博人談）
ンスの良い人材だと評判でした。

コガネパン株式会社

創業以来一貫してパンの製造・販売に従事し、県下最大・最新の製パン工場を稼働させているコガネパン株式会社で研修する機会を得ましたので、ここで働く卒業生の働きぶりをレポートします。

まずは

生菓子や調理パンの製造の係長の日比野朗幸さん(平6農卒)。



細々とした作業を全て掌握し11名の作業員を立派に統括してみえました。

次に、入社後に製パンの専門学校を卒業し専門的技術を習得し、



製パンの要ともいえる重要な任を任されている中村光宏さん(平9農化卒)。非常にセ



他に、配属はバラエティの配属の平井徳宏さん(平13食品卒写真左) 田宮一見さん(平13食品卒)も、こつこつと作業に打ち込んでいました。

女性では恒川佳子さん(平6畜産卒)が



成型の配属で、脇若一代さん(平11園芸卒)も頑張っています。今年入

社したのは岩田一輝さん(平18食品卒)いつも先輩の方々に可愛がってもらっていると話してくれました。



紙面の都合上、写真は掲載できませんが、横山耕一さん(平2畜卒)永井裕一さん(平15生工卒)が焼成及びバラエティという配属で頑張っていました。

コガネパン株式会社は、幼稚園・保育園から小中学校の給食及び高等学校・大学でのパン販売や官公署・会社・病院への納入が中心の企業で、本校の購買部で販売されているのもコガネパンです。皆さんも在学中はお世話になったと思いますが、個人的には食パンにマーガリンと砂糖をまぶしてあったパンが好きで、良く注文をしていました。

現在、従業員は90名で、その内9名の卒業生が従事しており、卒業生はパンの製造業務の担い手として欠かせない存在です。これからも地元企業の発展として発展されるとともに、卒業生の頑張り

(文責 山田 伸)

卒業生に聞く

今こそ「コミュニケーション」能力が必要!



田中 幹彦さん(昭47林卒)

本校は開校以来106年を経て、この間に2万余名の卒業生が社会の

各方面で活躍している。この度、創業以来98年の伝統があり、枕木の取扱数で日本一を誇り業界としても全国に知られている、小林三之助商店の総務部長田中幹彦さんと懇談する機会を得ましたので、このお話の内容を紹介いたします。

田中さんは昭和47年3月本校林業科を卒業され(51年4月まで王子木材緑化に在籍された後)同社へ入社されました。

社内ではあらゆる部署を経験されました。中でも営業担当時は商品の売り込みよりもまず「個人としての信頼を得ること」を最も苦勞された模様で、たまたま受け

たお客様からのクレームに対して「誠心誠意」の姿勢で臨んだ結果、クレームの処理ができたと同時に信頼を得て以後名指し頂けるようになったそうです。

で幅広くご担当されています。ここ数年入社してくる社員の間質が変わっているとのことです。つまり会社内での「上下関係の会話の欠如」が伺われるとのことです。お互いの挨拶から仕事内容の連絡と確認、現在の進捗状況などの報告等が話せない。IT関連のことなら堪能でも、社内での各年齢層とのコミュニケーションは苦手のように感じているようです。社内での人間関係から社員の心のケアまで幅広い配慮をする必要があるとのこと。伝統ある会社においても、「コミュニケーション」が取れない社員が増えている現状から、専門教科の指導はもとより、「コミュニケーション」能力の育成を職業教育活動の中に取り入れていく必要を痛感しました。

(文責 加藤英彦)

平成18年度学校農業クラブ 年次大会結果

【プロジェクト発表会】

区分「食料」

最優秀賞

3年 食品科学科

高原千賀子、鷲見さやか

稲守 小夜 高田 香

梅田 佳奈、高橋 良枝

玉井 励佳、柵橋 有紀

区分「環境」

優秀賞

3年 園芸科学科

阪 尚子、藤川 良子

國井 理佐、中村 法美

福田 恵

区分「文化・生活」

優秀賞

2年 食品科学科

岩崎 茜、櫻井 彩香

杉江 友帆、酒井満理子

永井 佳織、瀬川 友香

【意見発表会】

区分「食料」

優秀賞

3年 動物科学科

花田 奈々

区分「文化・生活」

最優秀賞

3年 動物科学科

森美 佳子

【農業鑑定期技会】

*園芸の部

優秀賞

3年 流通科学科

三浦亜耶乃、坪井 宏美

安田 紘志

2年 流通科学科

丸山 有輝

3年 園芸科学科

下川 妙美、蜂矢 佳奈

2年 園芸科学科

林 愛望、安田 夕華

1年 園芸科学科

國井 麻衣

*畜産の部

最優秀賞

2年 動物科学科

岩佐 肇

優秀賞

3年 動物科学科

井川 裕文、太田 浩徳

岡田絵里加

*農業土木の部

優秀賞

3年 環境科学科

戸田剣太郎、中島 充博

2年 環境科学科

早川 貴哉

岩崎 拓哉

*食品科学の部

最優秀賞

3年 食品科学科

久米 里穂

優秀賞

3年 食品科学科

水野 義明、高橋 良枝

2年 食品科学科

酒井満理子

3年 生物工学科

宇野 雄太、佐藤 隼人

並河 有美

*林業の部

優秀賞

3年 森林科学科

守屋 徹郎

【農業情報処理競技会】

優秀賞

2年 流通科学科

小川 綾奈

【家畜審査競技会】



- * 乳牛の部
- 最優秀賞
- 3年 動物科学科 杉山紗梨江
- * 肉牛の部
- 最優秀賞
- 2年 動物科学科 熊田 有美
- 優秀賞
- 3年 動物科学科 浦瀬祐太郎
- 【フワアアレンジメント競技会】
- 優秀賞
- 2年 園芸科学科 若松由里可
- 東海ブロック大会結果
- 【プロジェクト発表会】
- 区分「食料」
- 優秀賞
- 3年 食品科学科 高原千賀子 他7名
- 【意見発表会】
- 区分「文化・生活」
- 優秀賞
- 3年 動物科学科 森美 佳子

部活動報告

陸上

「国民体育大会岐阜県選手選考会」
 中島 徳彦 3年 流通科学科
 400m H 3位
 「岐阜市民陸上競技大会」
 吉村 勝 3年 環境科学科
 1500m 1位
 「本巣広域連合陸上競技大会」
 吉村 勝 3年 環境科学科
 800m 1位
 山田 裕樹 2年 環境科学科
 1500m 1位 5000m 1位
 江崎あずさ 2年 流通科学科
 走高跳 1位 100m 3位

男子バスケット

「県高校総体」
 一回戦 本校 84 多治見北
 二回戦 本校 97 68 関
 ブロック決勝 本校 65 71 高山西
 (ベスト8)
 「韓国遠征」
 本校 68 113 籠山高校
 本校 76 90 大真高校
 本校 62 94 陪材高校

平成18年8月1〜3日までの3日間、私たち、バスケットボール部は同窓会、育友会、校長先生始め諸先生方のご理解とご協力を得て、韓国遠征を行うことができました。6年ぶりの遠征でありましたが、荒井先生や田中先生の助言を頂き、また、景福高校元同窓会

長の金光天さんに全てサポートして頂き安心して安全な遠征でした。内容は4戦全敗でありましたが、今年韓国ベスト4の籠山高校のうまさより強さを肌で感じる事ができるなど、これからの方向性を見い出す、大変有意義な遠征とすることができました。関係者の皆様方、ありがとうございました。

女子バレー

「県高校総体」
 一回戦 本校 0 2 郡上
 「第26回岐阜南部リーグ」
 リーグ戦 本校 10勝0敗 優勝

ソフトボール

「県高校総体」
 一回戦 本校 10 0 揖斐
 準々決勝 本校 0 5 岐阜女子
 (ベスト8)
 「岐阜県ソフトボール選手権大会」
 一回戦 本校 3 0 土岐商
 二回戦 本校 1 6 関商工

硬式野球

「全国高校野球選手権岐阜県大会」
 一回戦 本校 0 3 関有知
 相撲部
 「東海高校総体」
 本校 予選敗退
 (田中・神野・佐藤・白井・松野)

吹奏楽部 「中部日本吹奏楽 県大会」
 小編成の部 優勝

放送部

第41回岐阜県高校放送コンテスト
 テレビドキュメント部門
 第2位
 第53回NHK杯全国高校放送コンテスト
 準々決勝 出場

書道部

第11回 全日本高校・大学生書道展
 準優秀
 川地 未希 3年 流通科学科
 和田 紀子 3年 動物科学科
 関谷 英恵 2年 食品科学科
 第7回 高校生国際美術展 書の部
 奨励賞
 加納 奈苗 2年 食品科学科

写真部

第60回 岐阜県美術展 青年の部
 入選
 若原 由美 3年 園芸科学科
 新川 雄大 3年 森林科学科
 第23回 岐阜県高校生写真コンテスト
 最優秀賞
 田中 美帆 1年 動物科学科
 奨励賞
 若原 由美 3年 園芸科学科
 大原 佐織 3年 食品科学科
 酒井満理子 1年 食品科学科

おみごと!
 岐阜県高等学校写真コンテスト
 最優秀賞に輝く

田中美帆さん(1年動物科学科)は、さきに行われた大会で229点の中からみごと最優秀賞を獲得しました。

本校写真部は、撮影の腕をみがくために2回ほど校外に撮影会に行きます。今年度は、7月上旬に京都嵯峨嵐山へ撮影会に行きました。田中さんは、竹林の中の坂道を自転車で行く老夫婦の動きをうまくとらえ、フィルム現像から焼き上げ(半切)まで自分でこなし出品。見事な結果を得ることが出来ました。タイトルは「坂道」

演劇部

最優秀賞の「県知事賞」受賞
 「しつけ」モウと暮した50日
 みごと4年連続中部大会出場

岐阜県高校演劇部はこの夏、県高校演劇大会で最優秀の県知事賞を受賞。4年連続の中部大会出場をきめました。今年の題材「蝶」モウと暮らした50日」と動物科学科を舞台に繰り広げる笑いと感動の舞台
 中部大会は岐阜ですから、12月27日(水)午前11時15分瑞穂市総合センターでもう一度見ることが出来ます。



激励『必勝うちわ』



7月12日、河村住夫さん(昭29年農卒)より、野球部への応援差し入れとして「必勝うちわ」を頂きました。毎年、河村さんからの差し入れです。試合当日は、このうちわを振り応援にも熱が入りました。ありがとうございます。

(左) 河村住夫さんより贈呈)



会員の動向

計報

元同窓会副会長

奥村 三夫(昭10年 林業卒)

平成17年11月21日 ご逝去

大西 重之(昭12年 林業卒)

ご逝去

李 相述(昭16年 農業卒)

平成18年6月16日 ご逝去

山本 正一(昭22年 農士卒)

平成18年3月 ご逝去

磯貝 彰(昭24年 農業卒)

平成17年2月25日 ご逝去

原 直三(昭32年 農士卒)

平成18年5月 ご逝去

高橋 優佳(平14年 動物卒)

平成18年8月20日 ご逝去



編集後記

今号に岐農祭の案内を出しましたが、今年が3年に一度の一般公開の年になります。

これまでも、3年に一度を毎年行ってみてはどうかとか、3年に一回だからこそいいのではなど、この開催については様々な意見がありました。

以前勤務してきたA高校やB高校では毎年学校祭を開催しています。毎年行うためか、地域からの期待度は本校の岐農祭に比べると低いようにも感じます。3年に1回だからこそ価値がより高まっているようにも思います。

また、スキー研修旅行についても本校は県下で2校のみとなりましたが、スキー研修を修学旅行として位置づけ実施しています。参加する前は「何で岐農はスキーなんだ」と言っている生徒も少なくありませんが、帰ってきた生徒は達成感を味わい、「行って良かった」との回答が圧倒的多数を占めているようです。

本校は、百六年の伝統ある農業高校です。周りの情勢の変化も考慮しつつ、独自のものも維持することも意味のあることではないかと思っています。

3年に一度のお待ちかねの岐農祭に皆さまのお出かけをお待ちしています。

給排水衛生設備・土木工事・産業排水処理装置・中衛クリーン浄化

設計・施工

中衛工業株式会社

代表取締役 関谷 秋夫 (昭和25年卒)

岐阜支店 岐阜市徹明通6丁目一番地 ☎<058>251-6161 本社 名古屋南区鶴里町3丁目11番地 ☎<052>811-8111

土木舗装一式請負

郡上舗道株式会社

代表取締役 高橋 勇 (昭和30年農卒)

本社 岐阜県郡上市大和町剣37の2 電話<057588>3163 3163 郵便番号 501-4612 北方営業所 岐阜県本巣市三橋712-1 電話<058>324-1818 324-7733 美濃加茂営業所 岐阜県美濃加茂市太田町字境松 電話<05742>5-8486



総合建設業 株式会社 松野組

代表取締役社長 松野 守男

本社 岐阜県瑞穂市徳積 ☎(058)327-3200(代) 岐阜営業所 岐阜市矢島町1丁目42番地 ☎(058)266-1386 山県営業所 岐阜県山県市西深瀬 ☎(0581)22-2420 東濃営業所 岐阜県可児市広見 ☎(05746)2-8811

東海ホリエ工業所 県下唯一のメーカー 農用ポリ手レインウェア 東海ホリエ工業所

岐阜県羽島郡岐南町野中 ☎<058>246-1313 名古屋営業所 名古屋西区前の川町四丁目 ☎<052>521-9296

社長 大野 繁俊 (昭和10年農卒)

(株)安藤コンクリート

代表取締役 安藤 正年(昭和十八年卒)

本社 岐阜県本巣郡北方町北方2126番地 ☎(058)324-2121(代) 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅四丁目25-17 ☎(052)538-1761(代) 福井営業所 福井市花堂中1丁目8番26号 ☎(0776)36-7523 豊橋出張所 豊橋市錦1132 ☎(0532)55-0760 小松出張所 石川県小松市上小松町内58-1 ☎(0761)22-6345 大野工場 岐阜県岐阜郡大野町五ノ里437番地 ☎(0585)32-3111(代)



建設コンサルタント

株式会社ユニオン

代表取締役 村橋 元 (昭和37年土卒)

〒501-0106 岐阜市西河渡2丁目57 電話<058>253-3111

支店・営業所 名古屋・恵那・高山・郡上・京都